(様式2)

令和 3 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590500102		
法人名	株式会社 スワロー		
事業所名	ももの木かしわざき グループホーム和奏		
所在地	新潟県柏崎市元城町1-46-2		
自己評価作成日	令和4年6月25日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kajokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&jigyosyoCd=1590500102-00&PrefCd=15&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	エム・エム・シー総合コンサルティング株式会社		
所在地	新潟県上越市富岡3446番地		
訪問調査日	令和4年7月29日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様の『個人』を尊重しながら身体能力に合わせ残存機能を活かし、今出来ている事を維持しつつ、認知症が進行しても穏やかに笑顔で過ごして頂けるよう個別ケアに重点を置いて毎日を過ごして頂いています。
またやれる事は自分でやって頂くという自立支援を心掛け、あくまでも主役は入居者様と考えて毎日の関わりを大切にしています。現在はコロナ禍なので休止中ですが、地域内の高校の実習協力を行ったり、小学校、幼稚園の生徒さんによる施設訪問を受け入れていました。毎年高校生の育てた野菜の苗を買い付けに行き、それらを畑に植えたり、小学校からは発表会の招待を頂いたりしていました。また地域のコミセン芸能大会にも参加させて頂いていました。コロナも少しずつ落ち着いてきたので、今後はこれらの行事や慰問の受け入れを再開し、地域との関わりを深く持った施設を目指したいと思っています。現在は、感染対策が十分に取れるよう対策を行いつつ施設内の月例行事を実施したり、風光明媚な環境を活かして散歩やドライブに出掛けたりと、出来る活動を行っています。
認知症があっても普通の生活が送れるよう、住み慣れた地域で安心して生き生きと暮らせるよう、地域に根差し信頼される事業所として これからもサービスを提供していきたいと考えています。

同法人が運営する小規模多機能型居宅介護事業所及びサービス付き高齢者住宅に隣接する、2012年3月に開設した1ユニットのグループホームです。
現在は新型コロナウイルスの影響で自粛していますが、以前は近隣の高等学校の実習を受け入れたり、地域のコミュニティーセンターでの行事にもご利用者と一緒に参加するなどし、地域との交流を深めています。
ご家族にも協力していただき自宅への外出やお墓参り等も行う等、今までの関係継続支援にも努めています。
食事についてもご利用者の要望に合わせて出前のそばやうどんを提供したり、その日の献立は畑と冷蔵庫にあるものをご利用者と相談して決めるなど、日々の生活を楽しんでいただけるようにしています。
ご利用者と一緒に関わり野菜を収穫したり、季節に合わせてお花見や菖蒲見学に出かけるなどの外出もご利用者の楽しみとなっています。